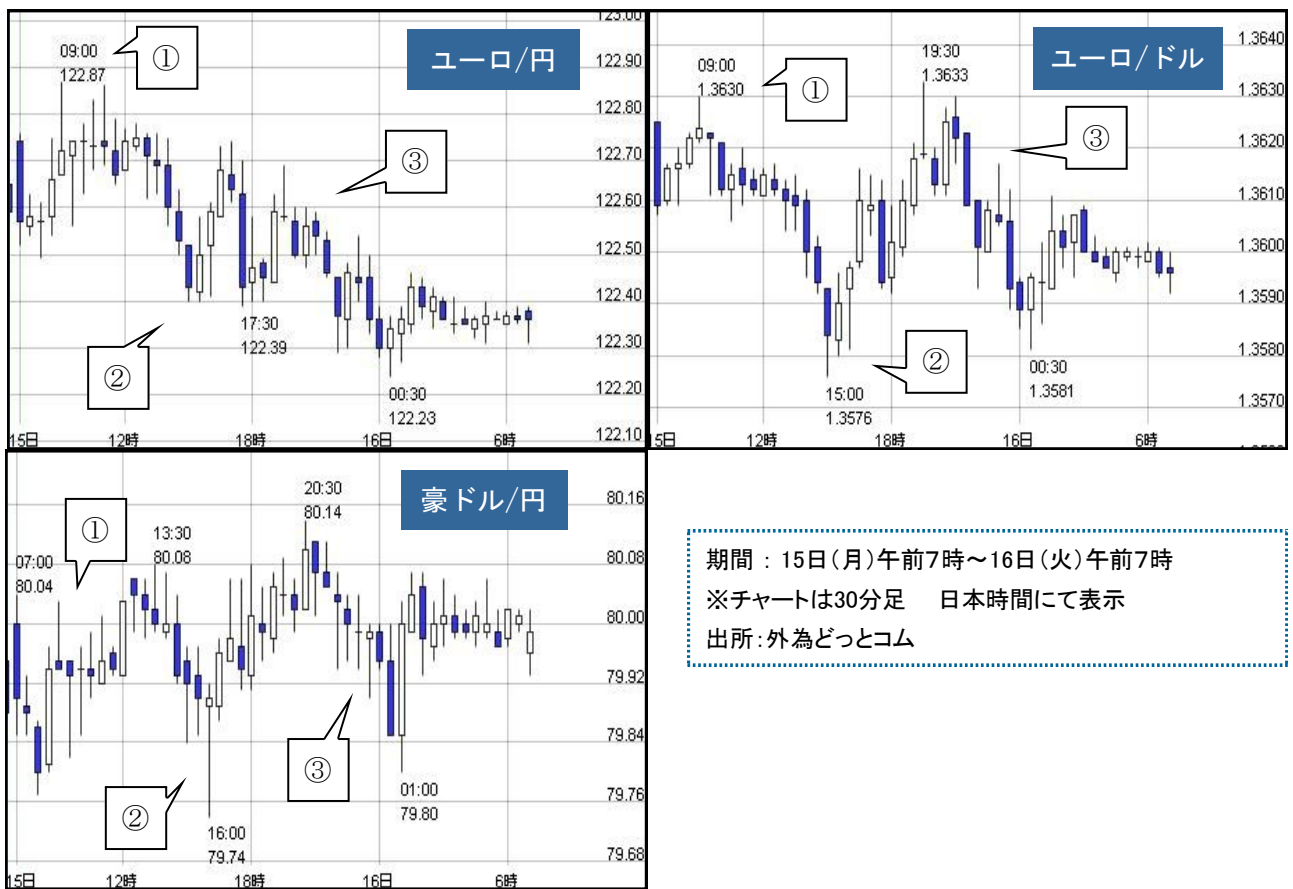


2月16日(火曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

EU財務相会合に注目

15日(月)の主な推移



期間：15日(月)午前7時～16日(火)午前7時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 8時 50 分に発表された本邦第4四半期GDP・速報値が、前期比年率で+4.6%と予想を上回る伸びとなったことを受けて、日経平均株価がプラス圏で寄り付くと、リスクを取る動きがやや強まり、ユーロや豪ドルは円やドルに対して小幅に上昇した。
- ② 中国の旧正月休みと米国の休場が重なり、動意に欠ける展開が続いたが、日経平均株価が引けにかけて下げ幅を拡大したことや、本日行われる予定のユーロ圏財務相会合では、ギリシャの救済へ向けた具体策が出される可能性は低いとの見方から、ユーロは円やドルに対してじり安となった。
- ③ 欧州時間序盤は、欧州株式市場の堅調さや、原油先物価格の小幅上昇を受けて、ユーロや豪ドルは堅調に推移した。その後、ユーロ圏財務相会合出席者のコメントが伝えられたものの、ギリシャ救済への具体策が発表されなかったことで、ユーロや豪ドルはドルや円に対して下落した。ただ、プレジデントデイで米国が休場のため、値動きは限定的であった。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3550-1.3780ドル
 ユーロ/円 : 121.80-123.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 79.20-81.20円

本日のEU財務相会合でギリシャ支援への具体策が出される可能性は低そうだが、EUやECBを中心にギリシャの財政再建を支援するという基本スタンスは確認されており、目先のユーロ急落は避けられそう。ただ、今後のギリシャ国債発行への懸念やスペインやポルトガルなどへの波及の可能性を考えると、ユーロへの売り圧力は残りそうで、上値は限定的であろう。ユーロ/ドルの2/12安値1.3530ドルが目先の下値の目途となりそう。

豪中銀は今日2日の理事会後の声明で「当面は金融政策の据え置きが適切である」としており、来月の利上げは見送られる可能性が高い。とはいえ、その後発表された1月雇用統計の予想を上回る強さや、日豪金利差を考えると豪ドル/円には売り材料が極端に少なく、大きく売り込まれる可能性は低いだろう。目先はギリシャ問題が最大の焦点で、EUによるギリシャ支援に一定の安心感が出るようだ。豪ドル/円は上昇する事になりそう。

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/16(火)	17:30	◎	(ユーロ圏)EU財務相会合	-	--
	19:00	○	(独)2月ZEW景況感調査	47.2	41.0
	19:00		(ユーロ圏)2月ZEW景況感調査	46.4	41.5
	22:30	○	(米)2月ニューヨーク連銀製造業景気指数	15.92	18.0
	23:00		(米)12月対米証券投資[ネット長期フロー]	+1268億USD	+354億USD

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。